

エルサルバドル日記 JICA



シニア海外ボランティア

平成26年度第4次隊 氏名：原 美子 職種：障害児・者支援 派遣国：エルサルバドル

新年度始まりました。

エルサルバドルの学校は、1月16日に始まりました。今年は、全校生185名でスタート。一番小さい幼稚園児は、3歳半、今年のうちには4歳になります。初めのうちはお母さんと離れると泣いてばかりいましたが、今ではすっかりお友達と遊べるようになりました。

以前本校生でも、一時家庭の事情で学校に来れなかった生徒や、通常の学校に通っていましたが、なかなか勉強についていくのが難しくなって転校してくる児童・生徒もいます。サンミゲル特別学校の仲間たちは、みんな優しいので、すぐに打ち解けて一緒に勉強したり、遊んだりして楽しく過ごしています。2月4日に、新入生歓迎会があり、楽しくゲームやダンスで盛り上がりました。



新しい仲間たち



洗濯ばさみリレーに、真剣な眼差し

みんな仲良くなりました。

特に、この日のおやつはみんなが大好きなスパゲティで、お代わりしている子どもたちもたくさんいました。

エルサルバドルは、2校時目と3校時目の間の、午前の部は9時から、午後の部は2時40分からおやつです。いつもは、白米にフリフォーレスという小豆に似た豆を混ぜたご飯に、牛乳というメニューが多いのですが、今日は特別メニューでした。

おやつを食べた後は、ダンスの時間。みんな大好きで、軽快なサルサやバチャータなどの曲に合わせて、踊ります。時には、「アナと雪の女王」のテーマソングが流れたりすると、感情込めて、創作ダンスを披露する子どももいて、流石ラテンの感性豊かな国の子どもたちだと感心します。



おやつは大好きなスパゲティ



みんなダンスが大好き